

伝統が育む豊かな心

専修大学の建学の精神は「報恩奉仕」。
この精神は、附属校にも大切に受け継がれています。
この精神を心に、親切運動を推進しているのは、
専修大学松戸中学・高等学校と専修大学玉名高等学校。
地域は違えども「報恩奉仕」の伝統があるからこそ。
両校は「小さな親切」運動に早くから賛同し、
先輩から後輩へ、親切のバトンを脈々とつないでいます。

目指せあいさつ日本ー！ 「スマイルプロジェクト」始動

専修大学玉名高等学校（熊本県）
入会年：昭和45（1970）年6月29日

専修大学玉名高等学校では、学校や地域を笑顔にする活動がしたいと、生徒会、あいさつ委員、「小さな親切」委員が中心となり、「スマイルプロジェクト」を開始しました。

まずは、あいさつ運動で学校や地域を盛り上げます。初日は、少し声が小さいという反省もでしたが、「笑顔で明るく」「元気よくはっきりと」「自分から先に、返礼を忘れずに」の3つの目標を掲げ、生徒だけでなく歩行者や運転中のドライバーにも元気にあいさつができるようになってきました。

あいさつをすると笑顔を返してくださる地域の方



まずはあいさつで学校や地域を明るく



クリーン大作戦で地域に恩返し

が多く、生徒たちのやる気につながったのか、回を重ねるごとに参加する生徒が増えています。「スマイルプロジェクト」では、定期的にクリーン大作戦も行い、環境美化でも地域に貢献しています。

安心をありがとう

専修大学松戸中学・高等学校（千葉県）
入会年：昭和38（1963）年9月25日
※中学校は平成12年（2000）年加入

子どもたちが安全に登校できるようにと、毎朝交通整理をしてくださった小倉正さんに、感謝の気持ちを伝えるため、専修大学松戸中学・高等学校が近隣の学校を代表して、「小さな親切」実行章を贈呈しました。

顔なじみの子どもが、授業が始まる時間になっても来ないと心配そうに待っていた心優しい小倉さん。昨年12月で活動を終えられましたが、10年以上も子



小泉毅校長（当時）より、実行章賞状を贈呈

どもたちの安心・安全を願って通学を見守ってくださいました。小倉さん、長い間本当にありがとうございました。